

磐城時報

日五
編輯人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一、部金五圓、一ヶ月金十五圓
廣告料一行十二字、日五圓、月金廿五圓
日刊（日曜除）翌日休刊

互融會の金庫には 現金タッタ五十圓

五千名から十萬圓詐欺 吉田昌弘が送検

石城中小商工互融會吉田昌和十年四月互融會を創設し弘（五九）は去る三月平署に（以来漢三郡五千名（六千）檢舉されて以來地刑事部（口）から十萬圓を集め生活長等が嚴重取調へてゐたが、費養業その他に全額を費一段落がついたので五日詐消し金庫の中に、五十餘圓欺公正證書原本不實記載のしか入つてゐなかつた罪で送検された、吉田は昭

戦死者の公葬は 香奠返し全廢

平市長青沼鋒太郎氏談

戦死者の市葬執行に際し遺族では従來の例に鑑み香奠返しを贈る向きもあるらしいので市役所では嚴重に之が撤廢方を申し入れる事になつたが右について青沼市長は左の如く語つた

帝國軍人が國家の一旦緩急あるに際し身命を祖國に捧ぐるは我國民の傳統的信念であり覺悟である。さればこそ戦歿烈士に對しては國家は護國の神として別格官葬社葬國神社の祭神として齊き祀り、上皇室の尊崇深く國民敬仰の的となつてゐるのである、市町村も之の戦歿

七日（舊四月八日）執行する年連が發起て屋臺、花車等が毎年祭典日には各區の青假裝行列等もあつた

神様の主張も 法廷では通らぬ

天理教側敗訴

飯野村南白土農江尻彦太郎百圓を納入しその未拂が三氏は十年五月平市古鍛冶町千二百四十圓であるが被告天理教會布教師平澤信通氏は未拂どころか過拂ひがあるを相手取り材木賣掛代金三と稱し反訴を起す外江尻千二百四十圓の請求訴訟を氏を家宅侵入暴行罪で告訴平支部に提起保争中三日原等信仰界に於ける醜い告訴の判決があつた、江争ひとして注目されてゐた尻氏は天理教信者で大正八もので神様の言分も法廷で年教會を新築する際利益を通らすこの判決を見るに度外視して材木二萬九千七至つたものである

平鐵工機械組合で 公會堂に大額

太田秋民氏に揮毫依頼

平鐵工機械工業組合では公日午後六時より小名濱町出會堂の新築を記念し縣出身書伯太田秋民氏に依頼し縦七尺五寸横七尺八寸余の額柳水君は支那事變に参加し名譽の戦傷をなした勇士で一行は吉田柳水師、外東家華遊、玉川勝次、桃中軒秀右工門外數名である

慰問袋 十日發送

平市役所では國防婦人會に依頼募集した出征將兵への慰問袋は三百八十個に上り十日夫々發送する

北畠郷 奉賛會發會

平市北畠郷奉賛會の發會協議會は九日午後一時から市役所に開き市會議員、區長、學校長、聯合分會長等が集り規約を制定し今後の事業について打合せ

浪曲大會

小磯上等兵
別茶話會を開く
四倉町國防婦人分會では九會費三十圓である

平商業校 修學旅行便り

五月三日（火曜日）曇
江の島... 名古屋
珍らしいさうれいさに眠らぬ興奮の一夜を枕合戦に騒ぎ明かしてまださめやらぬ睡眼をこする、あくびを連發しつゝ未明に起床した。

平市役所主催 日本國體講演會

福島縣隊司令部平市役所主催軍人分會平市聯合青年團後援の日本國體に關する講演會は来る八日午後六時半から平第三小學校に開催される、講師は日本國體の科學的研究家里見國體科學研究所長里見雄氏である

磐女校 修學旅行通信

（第二信）五月一日
生徒全部の銀プロも濟んで昨夜十一時二十分の夜行で東京驛を出發しました。汽車の中で先生方が「眠るのだから早くお休みなさい」といふので、私は目を閉じておりました。汽車はひた走つて、十二時近くになると、雨に水がさ増したらしい。安倍川に正直な川渡しし、足の手前、諸橋農會會長、猪狩平商工會會長、山崎青年團長等發起で世界館に於て送別茶話會を開く

魚釣中 癩癩をおこす

永戸村下永井宇高野前並藏孫阿部一三三（十六）君は四日午後五時半頃自宅前の小川で魚釣中持病の癩癩を起して河中に轉落溺死した

星代議士 送別座談會

代議士星一氏は来る九日渡米の途に上るが六日午後三時から青沼市長、八卷平署長、山崎驛長、野崎議長、井上組頭、諸橋農會會長、猪狩平商工會會長、山崎青年團長等發起で世界館に於て送別茶話會を開く

浪曲大會

別茶話會を開く
四倉町國防婦人分會では九會費三十圓である

シメキリ

ミナサン 花ノ 撮影會ノ
 サグピンハ 5月5日(今日)マデデス
 イマ 下記ノ 店頭ニハ 應募
 作品ガ 美シク カザ ラレテ
 オリマス

ニシムラヤ ヤクテン
 タイラシ 2 チヨウ
 デンワ 3 バン

貸切車料金値上就いて

今回政府のガソリン規正に伴ひ吾々當業者は五月一日から過大なる制限を課せられる事になりました、従つて大方皆々様の御利用に多大なる御不便も生ずる上多少の料金値上の止むなきに至りました、但し御諒承願ひ上げます

福島縣自動車協會

平 支 部

海へ！ 山へ！

初夏のハイクに

パーマメント……！

平市駅前

水野化粧院

魚沼産まぐら

ヒシマル凍魚

日本水産手特約會三六三六番
 卸小賣 平製氷會社
 長根通 四丁目五二八番
 新鮮な冷凍魚焼あります

| | | |
|----|-----|------|
| 鯛 | マナ鱈 | ノカサギ |
| エビ | 甘鯛 | 立貝 |
| 白魚 | カナ頭 | に貝焼 |

春から夏へかけての

遊

地新舞子

客室全部に電灯を点しました
 御遊覧客は可憐に御案内申上げます

大浦村上仁井田

渚亭

●國道から五分

一、煉炭

二、豆炭

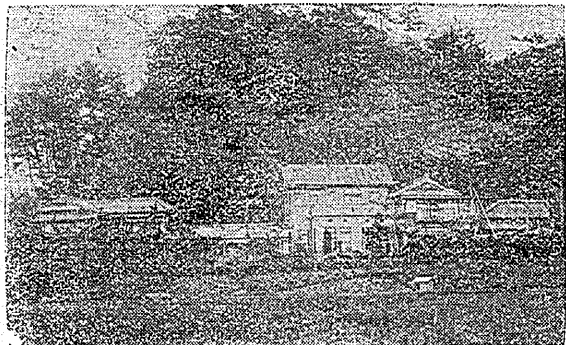
薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス

阿部石炭商店
 電話三十七番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
 平市田町藤田女學校前
 (電話五八番)



常磐線湯本驛
 鐵道指定旅館
 小瀧鑛泉
 電話一〇三番

耳鼻咽喉科

大和田醫院

平市南町(電話一七〇番)
 入院自炊の便あり

産科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎
 醫學博士 内木宗八
 藥劑師 大岩俊雄
 平市新川町十九
 木村病院
 電話一六四番

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

吉田眼科醫院

看護婦數名入用
 平市紺屋町(電話六八番)

謹啓亡父芳之助葬送の際は御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被下且つ御鄭重なる御弔詞御香奠を辱うし御厚志の段難有奉謝候一々拜趨御禮申上可の處乍略儀以紙上御禮迄申述度如斯御座候
 昭和十三年五月五日
 石城郡四倉町仲町
 嗣子 佐藤圭一郎
 外 親戚一同

本會幹事菅本庄司氏令息利雄氏支那事變に出征名譽の戦死を遂げられ去る一日御遺骨到着来る八日午後一時より平第三小學校に於て葬儀を以て葬儀執行の筈に候間會員多數御參列相成度以紙上御通知に代へ謹告仕候
 昭和十三年五月五日
 石城相馬郷友會
 會員各位